

伊藤ヨシ氏胸像台座裏に記された碑文

江戸時代より この地は「台田(だいた)と呼ばれ 肥沃な大地が広がっていたことで 我々の祖先は早くから田畑を開いて豊かな集落を造ってきた。

この胸像に在る 故伊藤ヨシ氏は 台田の地に江戸時代元禄期から続く清瀬でも代表的な篤農家の長女として大正六年四月五日に生を受け 農業を生業として営んできた。

草木の一枝にも歓喜し また哀愁を覚える豊かな心を持ち こよなく自然を愛でて絵画や短歌にも勤しむなか いつしかヨシ氏は若き日の台田のよすがを後世の市民に伝え 今ある姿も護り続けることを願うようになった。

ヨシ氏は 清瀬市へ 平成十七年に台田の杜をはじめ一万九千㎡、平成十九年には四千二百㎡余の土地を寄贈し 平成二十七年六月十五日のヨシ氏逝去以後は更に一万㎡余を遺贈して市民恒久の財産として継承させた。

この胸像は故伊藤ヨシ氏の遺徳を永く後世に伝えるため ヨシ氏の生家のあったこの地に建立したものである。

平成二十九年七月吉日

清瀬市